

□議員名：杉本 保喜

1 JR小野田駅周辺の整備計画の状況を問う。

論点	3月議会の一般質問について、その後の進捗状況はどうか。
回答	実現可能な事業手法を検討するため、山口県との協議や他市の事例調査研究を重ねてきた。今後は関係者に、より具体的な整備方針を示し、意見を頂きながら整備計画を策定していく。 日ノ出市場の問題も含めた整備手法を探っていきたい。

論点	地元自治会等への説明等はいつやるのか。
回答	方向性、どういったことを市が考えているのかという骨組について地元自治会等に前もって調整するという方法として、1月末に実施したい。

論点	買い取り方式の導入はあるのか。
回答	現在、整備手法の再検討中であるが、地元の意見を伺いながら、市の財政状況も勘案して直接買取方式による事業手法も視野に入れて検討する。

論点	駅前の街灯の更新は、どうなっているのか。
回答	「モンマルトルの灯」に相応しいデザイン性のあるLED街灯での復旧を検討し、早期に更新できるよう予算確保に努める。

2 防災体制の改善について問う。

論点	市防災訓練の成果と改善点を知らされたい。
回答	成果として、状況対応能力が向上し、処理時間も短縮された。危機管理意識が向上し、災害時の人員体制あるいは他の関係機関との連携方法の見直しが必要であることが明らかになった。 改善点は、役割分担の再認識と災害対応の方法を複数検討しておき、その検証をしてレベルアップする必要がある。 防災ラジオの活用は、今回の訓練に具体的に示していない。

論点	防災ラジオの配布が休止中であるが、今後の方針はどうか。
----	-----------------------------

回答	<p>その必要性が、市民等に浸透してきているとして、200 台分の購入を補正予算に上げた。</p> <p>27 年度以降も計画的に配布したい。</p>
----	---

論点	避難所マップの改善は、いつ市民に提示できるのか。
回答	<p>災害対策基本法の改正及び津波の浸水想定によって、避難所の明確化を現在、慎重にやっております、地域防災計画の改正作業を併せてやっている。</p> <p>今年度中に災害時に市民が避難する際、混乱することがないように、分かり易く広報誌やホームページで周知徹底を図りたい。</p>

論点	福祉避難所の運用は、どのように考えているのか
回答	<p>現在 4 か所をお願いしている。今後、福祉避難所の場所と開設に関する情報をホームページに示していく。</p> <p>災害時要支援者支援マニュアルは、定めており、総論的に記載している。救援物資の入手手段として今回コープ山口と協定を結んだ。</p> <p>今後も他業者とも検討したい。</p>

論点	市民が主体で実施している防災訓練をどのように分析しているのか。
回答	<p>市民の実施する訓練内容を研究させていただき、今後もより良い助言を行えるよう努める。</p> <p>自主防災アドバイザーとの意見交換を実施したい。</p>

### 3 定住自立圏構想において、山陽小野田市の対応を聞く。

論点	<p>総務省地域力創造グループ地域自立応援課から各都道府県市町村担当課あてに事務連絡(平成 22 年 4 月 30 日)が出され、長門市、萩市、下関市が形成を完了している。山陽小野田市は、この制度をどの様に捉え、対応するのか。</p>
回答	<p>本構想における要件の昼夜間人口比率が、当市では 0.96 と 1 以上でないため、中心市になることも単独で定住自立圏を形成することもできない現状である。なお、今年になって、国では「新たな広域</p>

連携について」として、第 30 次地方制度調査会答申を踏まえた地方  
中枢拠点都市といった考えも打ち出している。

地域を超えて広域の見地からまちづくりを進めていく広域連携  
は、極めて有効な手段と考えている。